

平成 2 9 年 6 月

富 山 市 議 会 定 例 会

市 長 提 案 理 由 説 明 要 旨

平成 29 年 6 月定例市議会の開会にあたり、提出いたしました案件の概要等について申し上げます。

(はじめに)

はじめに、総曲輪レガートスクエアがオープンして 2 カ月が経ちますが、この間のまちなか総合ケアセンターの主な利用状況について申し上げますと、5 月末時点で、産後ケア応援室では、デイケア利用と宿泊利用合わせて延べ 60 人、病児保育室では、お迎え型の利用を含めて延べ 89 人、こども発達支援室では、発達障害に関する相談が 682 件、まちなか診療所では、訪問診療と主治医に代わっての往診を合わせて延べ 16 人でありました。

また、まちなかサロンや地域連携室でも、健康相談や、記念講演など様々な行事に、多くの方に参加していただいております。

産後ケアや病児保育、訪問診療については、こうしたサービスが必要となった時に、受けられる体制が整っていることが大切であり、そのことが、働く女性や高齢者の安心感につながり、多くの市民の方に、本市で子どもを産み育てたい、本市に住み続けたいと思っただけのものと考えております。

(「トヤマ タウン トレッキング サイト」について)

次に、「トヤマ タウン トレッキング サイト」について申し上げます。

去る4月29日に、街歩きの拠点施設となる「トヤマ タウン トレッキング サイト」を富山市総合体育館に開設いたしました。

この施設は、街なかを山に見立てて歩く、富山発の「タウントレッキング」という全く新しい概念を採り入れたもので、ウォーキングやランニングを楽しんでいただくための情報発信と運動相談などの拠点として、スポーツの前後に楽しめる体に良い飲食を提供するスタンドや、健康管理システムを活用した運動指導を行うディスカバリーなど、4つの機能を中心に構成されており、さらには、これらの機能と連携させたウォーキング教室や食育講座なども行うこととしております。

今後、「トヤマ タウン トレッキング サイト」が市民の皆様の健康増進に寄与するとともに、街の活力・賑わい創出の一端を担い、本市の新たな魅力の発信拠点となることを期待しております。

(最近の経済情勢について)

次に、最近の経済情勢について申し上げます。

5月の月例経済報告によれば、個人消費は、総じてみれば持ち直しの動きが続いており、設備投資にも、持ち直しの動きがみられ、さら

に、企業収益も、改善していることなどから、我が国の景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いているとされております。

先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるとされております。

また、富山県の経済情勢については、個人消費に、持ち直しの動きがみられ、生産も持ち直しているものの、設備投資の伸びが鈍化していることなどから、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いているとされています。

(提出案件について)

次に、提出いたしました案件について、その概要を申し上げます。

(1 予算案件について)

予算案件については、当初予算に計上せず、市長選挙後に補正予算で対応することとした新規・拡充事業にかかるものなどについて補正を行うものであり、一般会計では8億8,700万余円を追加するものがあります。また、特別会計では公設地方卸売市場事業において2,000

万円、水道事業などの企業会計では1億8,500万余円を追加するものであります。

次に、歳出予算の主な内容について申し上げます。

(①新規・拡充事業)

まず、新規・拡充事業として、市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための「連携中枢都市圏」を形成するための経費、旧八人町小学校や旧図書館本館跡地などについて、官民連携事業による有効活用策を検討するための経費、都市の美観を向上させるためのカラス対策の拡充に要する経費、男性の育児休業の取得促進や、女性が活躍できる職場環境の改善に対する助成金、65歳以上の高齢者の活躍機会の拡大を促進するための人材バンク設置に要する経費、ライチョウの飼育・繁殖のための新たな施設整備に要する経費などを計上しております。

(②その他の事業)

その他の事業としては、議会のケーブルテレビ中継に備えるための議場システムの改修に要する経費、不育症の検査や、治療における費

用の助成に要する経費などを計上しております。

(③特別会計)

特別会計については、公設地方卸売市場事業で、市場のあり方を踏まえた建物の必要規模、市場全体の配置計画等を定めた「卸売市場再整備構想」を策定するための経費を計上しております。

(④企業会計)

企業会計については、水道事業会計において、避難所へ接続する管路の耐震化を図るための経費、公共下水道事業会計において、避難所のマンホールトイレを整備する経費を計上しております。

以上が歳出のあらましですが、これらに要する財源としては、一般会計では事業に伴う国・県支出金、地方債及び繰越金などを充てております。

また、特別会計・企業会計では国庫支出金、地方債、一般会計からの繰入金などを充てております。

次に、債務負担行為について申し上げます。

債務負担行為については、呉羽保育所実施設計業務委託など5件に

ついて限度額を設定するものであります。

(2 その他の案件)

次に、予算以外の案件について申し上げます。

まず、条例案件については、「富山市職員の退職手当支給条例の一部を改正する条例」を制定するものなど6件であります。

契約案件については、富山港線軌道施設（その3）工事の委託契約を締結するものなど4件であります。

その他の案件については、損害賠償の額を定める件など3件であります。

報告案件については、損害賠償請求に係る和解の専決処分について報告するもの1件、平成28年度の予算を翌年度に繰り越して執行することについての報告6件、債権放棄の報告1件、一般財団法人富山市ガラス工芸センターなど市の出資法人について経営状況を報告するもの20件であります。

(平成28年度決算見込みについて)

なお、この機会に平成28年度の決算見込みについて、ご報告申し上げます。

各会計の決算については現在調製中ではありますが、一般会計の決算

では、実質収支で剰余金が生じる見込みであります。

また、特別会計におきましても、若干の剰余金が生じる見込みであります。

企業会計におきましては、収益的収支では、水道事業、工業用水道事業、公共下水道事業においては利益が生じる見込みであります、病院事業では損失が生じる見込みであります。

また、資本的収支では、水道事業、工業用水道事業、公共下水道事業及び病院事業において資金不足が見込まれますが、この資金不足については、内部留保資金などで補填することとしております。

以上が、今回提出いたしました案件の概要であります。ご審議の上、議決を賜りますようお願い申し上げます。